

# CSO

むすび vol.93  
2014

Civil Society Organization  
Magazine

## CONTENTS

特集

# 紡ぎあうサポーターセンター 市民社会のひろがり

PHOTO: 路面電車

大阪NPOセンターが考えるCSO(市民社会組織 Civil Society Organization)とは、市民の観点から自発的・公共的な活動を担いながら、社会変革を目指している団体を総称したものです。社会的ミッションを軸として結集し、公共的利益や課題について行動するNPOのようなテーマ型組織に限らず、自治会やPTAといった地縁型組織や社会の問題解決に向けたSB(ソーシャルビジネス)やCB(コミュニティビジネス)を行なう社会的企業も含まれます。



# ソーシャル ビジネス

Vol. 15



## 近畿SBNメンバー紹介

## 株式会社ネスト・ジャパン

2011年3月11日 約2万人にのぼる死者、行方不明者を出した未曾有の大災害 東日本大震災が発生しました。大多数の死因は水死が1万2143人と92.4%を占めました。この東日本大震災をうけ、私達はあらためて津波の恐怖を実感しました。津波によって多くの方々が犠牲になられた事を報道等で知るたびに、悲痛な思いと大変な衝撃を受けました。そして、飛行機や釣り船では常識となっている命を守る救命胴衣のことが頭をよぎりました。もし東日本大震災の津波の前に、こういった救命胴衣が各自・各所で準備されていれば、多くの尊い命が救えたのではないか！？と考えるようになり、私たちが少しでも寄与できる事は何かを検討し続け、培ってきた事業を基に、今後予測される地震・津波等の災害から少しでも多くの命が救えるよう、守れるように願いを込めてこのリュック一体型ライフジャケット【TSUNA GUARD (ツナガード)】を独自開発致しました。

まさかの時を想定して各ご家庭で避難用リュックなどをご用意されている方々は多いでしょう。震災後の避難生活のために必需品だと思います。しかし、災害が起こった時に本当に必要なもの…まずは命を守るグッズが必要では。津波に飲まれてしまった時に一番重要なのは、沈まないことです。そこから、避難用リュックとライフジャケットが装備されていれば一石二鳥ではないかと考えたのが開発のきっかけです。

現在、減災社会に向け、インフラ整備・ハザードマップの再作成・地震予知や津波避難タワーの確保など、国や自治体は動き出していますが、十分な環境整備までは多くの時間と費用を要します。また、十分な環境整備とは何をもちって十分といえるのでしょうか。減災社会とは個人や企業や団体が「自ら守る命」という意識を高めることから始まります。重要なのはひとりひとりが自己防災の意識をもって万が一に備えることです。私どもネスト・ジャパンは、日常での防災意識と準備の恒常化を目指しています。現在は、『自己防災』『減災社会』という言葉



**会社情報** **株式会社ネスト・ジャパン**  
大阪市中央区玉造 2-25-1  
TEL : 06-6765-1722  
MAIL : info.tg@nestjapan.co.jp

平成5年創業。服飾雑貨の企画・製造など手掛けていた事業を基に、2012年新たに防災事業を開始。第78回かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場賞・NBK大賞2013 大阪ブロック賞など、各種受賞している。

### 執筆者プロフィール

しも 下出谷 良治 (32歳)

株式会社ネスト・ジャパン・広報・営業統括本部長。桃山学院大学経営学部を卒業後、キャノンシステムアンドサポート株式会社で営業として勤務。その後、株式会社ネスト・ジャパンへ入社。2013年8月に日本防災士機構による防災士資格を取得。

